

USCOS導入による 食品スーパーでの業務効率化事例

高橋 清 平井 芽久美
金子 智昭

長引く不況に悩むスーパー業界では、業務の効率改善が盛んに検討されている。その一つとして売上金関連業務の効率化と現金管理・資金の効率化に焦点を当てた事例を紹介する。

一般的なスーパーでの現金関連の作業には、専任の要員を配置した上で、レジごとの売上を開始するための釣銭の準備、レジ操作店員交代時の売上金の確認、釣銭と売上金の仕分け、両替金の準備などがあり、レジ台数が多い店舗では、それぞれの作業にかなりの時間を要している。

現金管理の面では、現金管理をする事務員がレジ操作店員の交代時や業務終了時に、レジの現金を手手で計数または入金機等を使って計数している。ここで計数された実現金とPOSレジの論理現金有高を突き合わせする場合、違算が発生するケースが少なくない。

資金管理の面では、お客様の前で釣銭切れをおこさないよう、過大な釣銭準備金を用意し、銀行、現金輸送を依頼する警備会社などに手数料を多く支払っているのが現状である。

本稿では、現金入出金機『USCOS (Universal Service & Cash Order System)』を導入することによってお客様（食品スーパー）がそれらの課題を解決できた事例について、導入後のお客様の声と併せて紹介する。

お客様のシステム検討の背景

今回導入いただいた食品スーパーは、店舗数が約30店舗で、それぞれ平均日販300万円程度、レジ台数が6台～7台の規模である。

このスーパーは銀行が警備会社を経由して釣銭の配金・売上金の回収をするサービスを利用しており、入金機等の装置が設置されておらず、すべて手手で管理していた。

お客様が課題としてソリューションを求めていたものは以下の3点であった。

- 現金計数業務の負荷軽減
- 釣銭準備業務の負荷軽減
- 運転資金の効率的な運用

当社は、流通業界において現金管理サービスを提供している警備会社と協力して、食品スーパーなどにUSCOSを展開している。今回紹介する食品スーパーは、警送を担当している警備会社の営業マンが、食品スーパーの状況を把握し業務効率化および運転資金の効率化の提案を行った。それを受けて1店舗で試行を行うことでUSCOS導入の効果を評価いただき、関連店舗に展開することができた。

USCOSの概要

USCOSは流通店舗などに設置され、店舗内の売上金・釣銭などの現金を管理する装置である。

(1) 主な機能

- レジにセットする紙幣と硬貨の釣銭準備金を払い出す機能
- レジごとに現金を受け付け、売上金と釣銭に分けて管理する入金機能
- 現金を効率的に運用・回収するための現金リサイクル機能

(2) USCOSの特長

- 作業の効率化
釣銭金種のレジごとの計数が不要
売上金・釣銭の仕分けが不要
現金管理に掛かる多種多様な機器の併設および煩雑なオペレーションが不要
- 管理の効率化
出金・入金の実績履歴をレジ単位、担当者ごとに管理可能（違算確認時に使用）
売上金入金・釣銭出金が管理者不在でも可能
- 資金の効率化
過大な釣銭準備金の圧縮
両替回数、手数料の削減

図1に従来の作業とUSCOSを導入した場合の作業の流

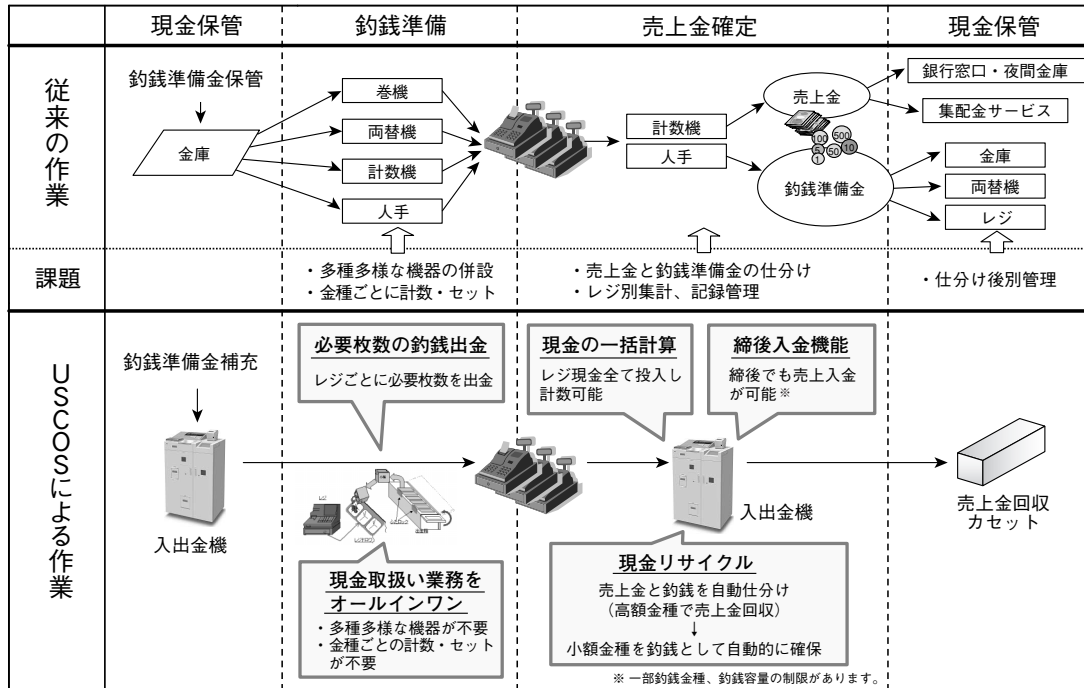


図1 USCOSによる業務の効率化

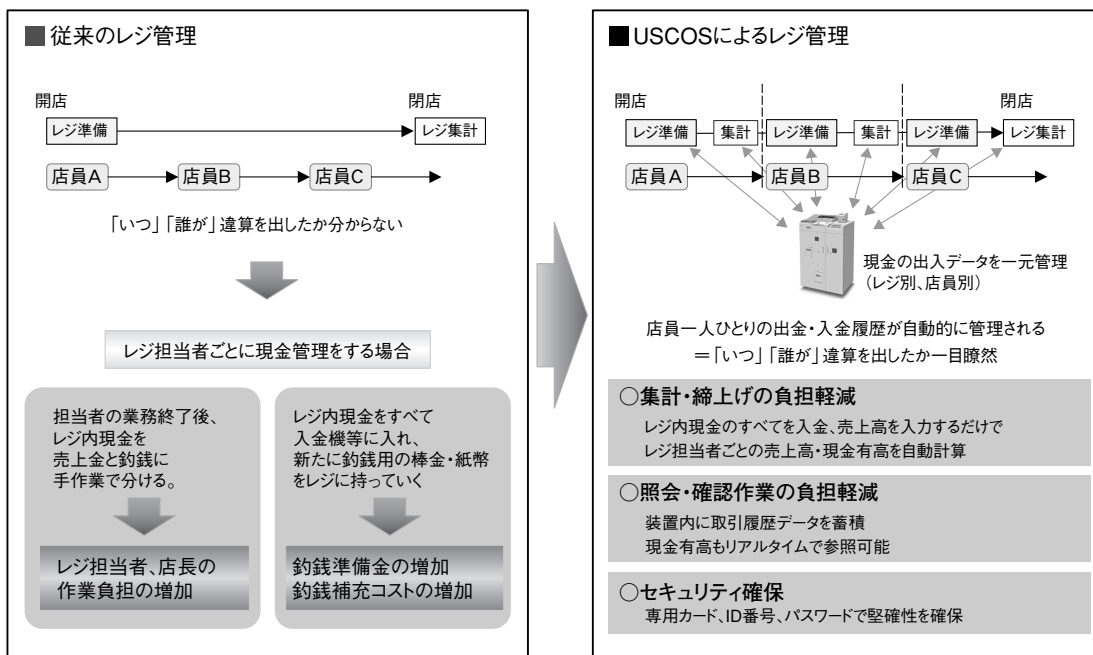


図2 レジの管理の効率化

れの違いを示す。

以上のように現金の計数・仕分け・保管・記録等の一連の作業をUSCOSで処理することにより、従来の煩雑な人手作業や、機器操作の時間と手間を削減することがで

きる。

図2に従来のレジ管理とUSCOSを導入した場合の管理フローを示す。

(3) USCOSの概観

USCOSの概観と各部分の説明を図3に示す。

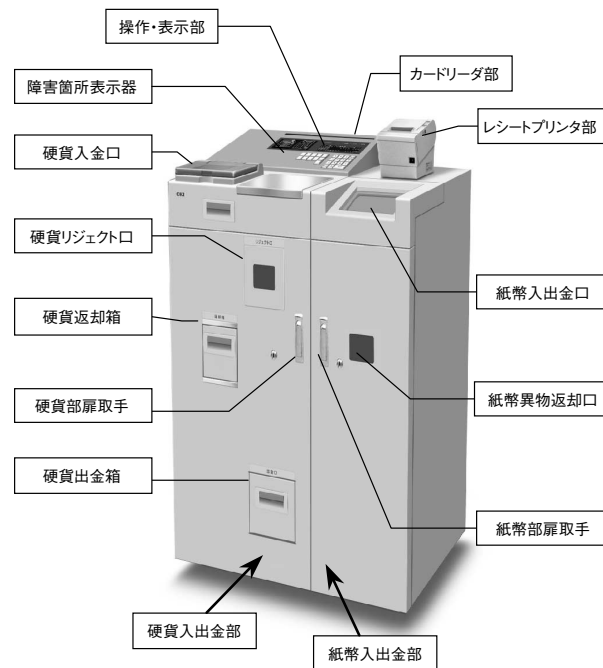


図3 USCOS概観

導入後のお客様の声

(1) 導入効果

お客様がそれまで課題としていた以下の項目をUSCOSの導入によって解決することができた。

① 現金計数業務の負荷軽減

レジごとの釣銭出金額を保持し、1人の操作者が売上業務を終了する際、レジ内現金をすべて投入するだけで、売上と釣銭の自動仕分けができ、違算の管理もすることができるため、現金を計数する時間の大幅な短縮と効率の良い違算管理が実現できた。

② 釣銭準備業務の負荷軽減

USCOSでレジ単位に必要な金種ごとの釣銭をあらかじめ登録しておくことにより、レジ担当者が釣銭の出金を行える。業務前に経理担当者がレジごとに必要なお金を振り分けなくても済むようになり、スムーズな運用が可能となった。

③ 運転資金の効率的な運用

レジから引き上げた現金をUSCOSに投入するだけで、

売上金だけが最大金種で回収カセットに収納される。また、釣銭として出金した金額は、釣銭庫へ収納され次回の出金で再度利用が可能となるので、釣銭準備金の大幅な削減が実現でき、銀行から店舗への警送にかかる費用も削減された。

また、両替もUSCOSのできるため、経理担当が付いている必要がなくなり、両替時間の短縮と経理担当の業務効率化も実現できた。

(2) お客様へのアンケート結果

USCOSを実際に利用する事務員およびレジ担当店員を対象に利用開始から10日後にアンケートを行った結果、利用を始めて間もない段階であるにもかかわらず、以下のような良い評価をいただいた。

- ① 計数のミス等：90%の人が減少したと回答
- ② 入出金等にかかる時間：全員が減少したと回答
- ③ 操作性（入出金操作、その他）：使いやすい：80%以上の人が良いと回答

なお、アンケートの自由記述欄で以下のコメントもいただいた。

【事務員：両替・集計等の担当】

- 両替等の自動化で金庫室へ出入りする仕事が少なくなった。
- ドローアの交換の立ち会いも、券(商品券)のチェックだけで済み、今までの時間が嘘のようだ。

【レジ操作店員】

- 早く帰れるようになった。
- レジ上げがスムーズになった。
- 硬貨の多い時は、棒金の時の方が取り扱いやすい。
- 入金枚数が少ない。もっと増やして欲しい。
- 障害時の対応が難しい。

USCOSの拡張について

現在、USCOSは、単独スタンドアロンで利用されているが、お客様へのヒヤリングの結果、以下のようにシステム化に関連する要望があることが分かった。

- ① レジ台数が多い場合、複数台のUSCOSを設置して、空いているUSCOSでレジの入出金を行いたい。その時もUSCOS全体でのレジ管理をして欲しい。
- ② 何台もUSCOSがあると、離れた場所に置かれることになるので、締め上げの時に巡回するのが大変。また、

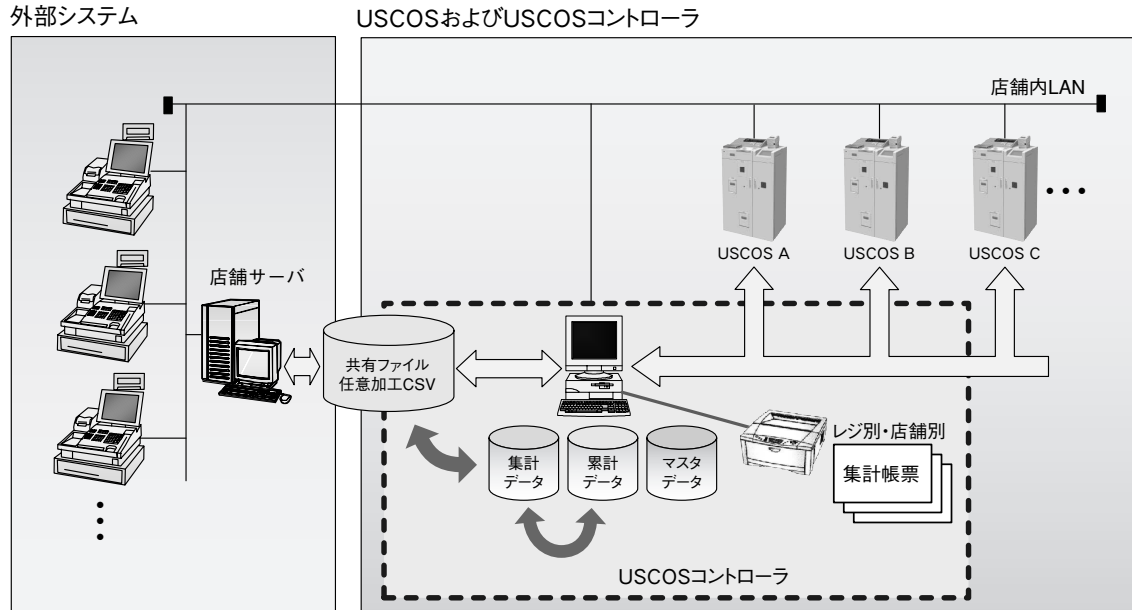


図4 USCOS拡張システム構成

過去の入出金データや回収履歴をパソコン等で見られるようにして欲しい。

- ③ 釣銭補充の適切なタイミングが、USCOSを操作しないと分からない。
- ④ POS管理サーバとの連動をして欲しい。

これらの要望に対するソリューションとして開発を行った機能拡張用パッケージソフトがUSCOSコントローラである。

(1) USCOSコントローラ機能

- ① 複数台のUSCOSを制御し、データの一元管理を可能とする。(別々のUSCOSで入出金しても、正しい仕分けができる)
- ② 日別のUSCOSの締上げ(集計)データ、回収履歴を表示、印刷する。
- ③ 外部システムとのデータ連携ができる。
- ④ USCOSごとに現在保持している釣銭収納枚数を確認できる。
- ⑤ USCOSの入出金操作データを、指定された条件で、任意のCSVファイルとして出力できる。
- ⑥ 全USCOSへ、一括で締上げ要求を出すことができる。

(2) システム構成

拡張されたシステムでは複数台USCOSのデータをUSCOSコントローラを用いてパソコンで一元管理すると

ともに、外部システムとの連携を行い、集計処理等におけるお客様の要望を実現している。そのシステム構成を図4に示す。

おわりに

流通関連向けのUSCOS(入出金機)の食品スーパーにおける導入事例を紹介し、お客様との打ち合わせでご提示いただいた要望への対応事例の一部を紹介した。

お客様にとってより使いやすく、より効率的なシステムを提供するために今後も努力を重ねていきたい。

また、警備会社等各チャネルとの連携を強化して流通関連をはじめ現金を扱う窓口を持っている市場に対して広く提案を進めていこうと考えている。 ◆◆

● 筆者紹介

高橋清：Kiyoshi Takahashi. システムソリューションカンパニー 運輸流通ソリューション本部 営業第三部 営業第四チーム
 平井芽久美：Megumi Hirai. システムソリューションカンパニー 運輸流通ソリューション本部SE第二部 第四チーム
 金子智昭：Tomoaki Kaneko. システムソリューションカンパニー 運輸流通ソリューション本部 SE第二部